

人 ⑧ 県展の彫刻部門で県展賞を受賞

とおやま ひしし
遠山 仁さん
立仏・二十三歳

「入賞したらいいなと思っ
ていましたが、まさか県展賞とは」
と言うのは今年の県展の彫刻部門
で最高の賞である県展賞を受賞し
た遠山さんだ。「でも、出展した作
品は今まで制作した中では一番い
い出来と思っりました」。

現在、新潟大学教育学部四
年生。中学校教員養成課程で
彫塑を専攻している。昨年の
県展でも入選したが、実は彫
刻を本格的に始めて三年目だ。

「彫刻をやりたいなと思っ
たのは中学のころです。子供
のころから粘土をいじると
か、プラモデルを作るとか
いたことが好きで、そういつ
たことを引きずっているのか
なあ」とこれまでのことを振
り返る。

中学、高校では美術部に入
っていた。高校のとき、立体造形
に興味を持ったそうで、美術部で
は、遊びでマネキンに色を塗った
り、木で抽象的なオブジェみたい
なのを作ったりしていました。
彫刻を本格的に始めたのは大学
二年生のときからだ。想像して
いたのとは違っていました。どうい
うことかというところもっとハデな
ことができると思っったんです
が、やはり彫刻の最初からコツコ

ツという感じでやらなくちゃなら
ない。今は基礎から勉強してい
るところです。現在は、就職活動な
どを除くと朝から夜九時くらいま
で大学で制作に没頭し、家には寝
に帰るくらいだとか。好きなんで
すが、でも彫刻のことはまだよく

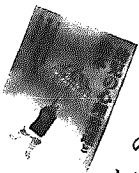
わからない。これからですね。
彫刻というのは、絵などと違っ
てなんとなく大変そうだという気
がしていたので、その点をうかが
ってみた。「そうですね。材料や道
具にお金がかかるし、制作のため
の場所も大変。作品がかなりの重



遠山さん。自宅で。手前の作品は昨年の県展に出品し奨励賞を受けた「ヨーコ」。プラスチックに着色。(なお、今年、県展賞を受賞した作品は、同じ人をモデルにした「遥」)。後ろが昨年の県展に入選した「遥」。

ほんの一冊

幼児の心理発達と絵本
佐々木宏子作
(宇都宮絵本図書館編)



第一子に2・3才
児を持つ14の家庭で
の絵本の読まれ方をま
とめた事例研究の本であ

る。研究書だがかたくるしきはなく、
ドキュメンタリーでも見ているよう
に、それぞれの家庭の様子が見えてく
る。知識を教えるために読む親、しつ
けのために読む親、同じ絵本でも親が
伝えたいことによって幾通りにも読め
ることには驚く。この中の家庭に手本
を見いだすか、反面教師を見いだすか、
いずれにしても幼い子供を持つ人にお
すすめの一冊である。

量になるので普通の家の床だと抜
けてしまおうし、等身のだと天井が
高くないと... ですから、趣味で
やってみようと思ってもなかなか
難しい。だから「大学でしかでき
ないと思っます」とも。
来年春には卒業予定だが、もち
ろん「卒業後も彫刻を続けてやっ
ていきたいですね。それには彫刻
を仕事で生かせるところへ就職し
たいんですが、そう調子よくいく
かどうか」。同じ専攻の先輩で、教
師をしている人も制作のための場
所を確保するのが難しいと言っ
ていたそうだ。
県展賞には賞金が出るそうで、
これが十万円。これは「受賞を祝
って同じ研究室のみんなど飲みま
した」とのこと。「でも制作にかか
った費用が十万円くらいなんです
よね」。もちろん、元が取れる取れ
ないという問題でないとは言っ
てもない。

〈人の動き〉		前年比	
5月末日現在	(前月比)	(前年比)	(前年比)
人口	23,696 (+13)	[+317]	
男	11,615 (+19)	[+157]	
女	12,081 (-16)	[+160]	
世帯	6,404 (+6)	[+147]	
5月1日～末日			
出生	27	転入	62
婚姻	15	転出	72
死亡	8		



「戦後のクウェート、イラクに行く」と題し
て、今月と来月の二回にわたって、田代善明
さん(山田出身)からうかがったお話を掲載
します。「湾岸戦争」後、田代さんはすでに二
度クウェートなどを訪れ、現在はサウジアラ
ビアのカフジに滞在しています。日本への石
油出荷の再開に向け、現地の人たちを監督す
るためです。▼お忙しい中、田代さんはわざ
わざ役場まで二度も足を運ばれ、貴重なお話
を聞かせていただきました。現地のビデオを見
せていただいたりしました。ありがとうございました。
▼さて、田代さんが持ってこられ
たビデオを見ての感想、油田火災による煙の
ひどさがいばん印象的でした。これは、山
異常気象になっただけで不思議はない。火山噴
火による火山灰などで日光がさきざきられ、
寒冷化やら不作為やら起きるという話を思い
浮かべました。それに石油が燃えるってこと
は当然二酸化炭素(炭酸ガス)が大量に放出
されることになるわけで、これも目に見えな
いだけに心配なところ。(二酸化炭素は温室効
果の元凶といわれ、国際的に排出制限が検討
されています)▼江戸時代の「天明の飢饉」
は浅間山の噴火が、原因ではないにしても、
助長したというし、自然現象による環境破壊
もけっこうある。しかし、それと同じような
ことを人間が自分の手でやることは... そま
で偉くなったというべきか。▼蒸し暑い日
が続いています。皆さんも健康にはご注意ください。

●来月号の表紙
今月は「新潟ふるさと村」を紹介しまし
たが、来月はそれも含め大きく変わります
町の姿についてお知らせしたいと思っ
ています。皆さんのご意見やお考えをお聞かせくだ
さい。連絡先：役場企画商工課 広報係 ☎三
七七一 三〇一内線三三二八

